

仙神宗
仙神寺柳山神社

總合 式次第

高皇產靈大御神

天之御中主大御神

神皇產靈大御神

瓊瓊杵尊

天照大御神

柳山大山祇大山神

不動明王

大日如來

遍照金剛

[illegible]

目次

主祭神仏宝号

第一章 経式次第	二
開経偈	三
懺悔文	四
十善戒	五
発菩提心真言	六
三摩耶戒真言	七
光明真言	八
仏説摩訶般若波羅蜜多心經	九
(漢文) 摩訶般若波羅蜜多心經	十
延命十句観音經	十一
(漢文) 延命十句観音經	十二
(漢文) 妙法蓮華經觀世音菩薩普門品第二十五	十三
(漢文) (觀世音菩薩普門品偈)	十四
(漢文) 般若理趣經	十五
(漢文) 九條錫杖	十六
(漢文) 金剛界禮懺	十七
(漢文) 胎藏界礼懺	十八
(漢文) 仏説阿弥陀經	十九
(漢文) 聖無動尊大威怒王秘密陀羅尼經	二十
(漢文) 仏説聖不動經	二十一
(漢文) 南無三十六童子	二十二
(漢文) 南無八大童子	二十三
(漢文) 稽首聖無動尊秘密陀羅尼經	二十四
不動尊劔功德の文	二十五
不動明王真言大咒・不動明王梵字(カーン)・不動明王印(独鈷印)	二十六
不動尊祈經	二十七
(漢文) 禮文	二十八
密厳院発露懺悔文	二十九
五大願	三十
祈願文	三十一
三力の偈	三十二

回向文	五十一
愛染明王真言・真言・印	五十二
大師御宝号	五十四
大日讚	五十五
不動讚	五十五
佛讚	五十五
般若心經陀羅尼	五十六
佛頂尊勝陀羅尼	五十八
一切如來心秘密全身舍利宝篋印陀羅尼	六十
阿彌陀如來根本陀羅尼	六十一
聖如意輪根本陀羅尼	六十一
仁王般若經陀羅尼	六十二
消災妙吉祥陀羅尼	六十三
慈氏菩薩根本陀羅尼	六十三
大金剛輪陀羅尼	六十四
千手千眼觀世音菩薩廣大圓滿無礙大悲心陀羅尼	六十四
光明真言和讚	六十六
般若心經秘鍵	六十八
御本尊真言	七十一
釈迦如來	
阿彌陀如來	
大日如來	
藥師如來	
千手觀世音菩薩	
十一面觀世音菩薩	
地藏菩薩	
馬頭觀世音菩薩	
聖觀世音菩薩	
不動明王	
文殊菩薩	
弥勒菩薩	
虚空藏菩薩	
大通智勝如來	
金剛界五仏	七十二
大日如來	

[illegible]

軍荼利明王・・・・・・・・・・・・・・・・

大威徳明王・・・・・・・・・・・・・・・・

金剛夜叉明王・・・・・・・・・・・・・・・・

その他の明王・・・・・・・・・・・・・・・・八十一

愛染明王・・・・・・・・・・・・・・・・

孔雀明王・・・・・・・・・・・・・・・・

十二天・・・・・・・・・・・・・・・・八十二

伊舎那天（大自在天）・・・・・・・・

帝釈天・・・・・・・・・・・・・・・・

火天・・・・・・・・・・・・・・・・

閻魔天・・・・・・・・・・・・・・・・

羅刹天・・・・・・・・・・・・・・・・

水天・・・・・・・・・・・・・・・・

風天・・・・・・・・・・・・・・・・

毘沙門天・・・・・・・・・・・・・・・・

梵天・・・・・・・・・・・・・・・・

地天・・・・・・・・・・・・・・・・

日天・・・・・・・・・・・・・・・・

月天・・・・・・・・・・・・・・・・

その他の天部・・・・・・・・八十三

吉祥天・・・・・・・・・・・・・・・・

弁財天・・・・・・・・・・・・・・・・

摩利支天・・・・・・・・・・・・・・・・

聖天・・・・・・・・・・・・・・・・

愛染明王・真言・印・・・・・・・・

仏説摩訶般若波羅蜜多心経『解釈』八十四

般若心経秘鍵『現代語訳』八十八

妙法蓮華経観世音菩薩普門品第二十五『現代語訳』九十二

第二章 祝詞式次第・・・・・・・・九十六

降神の儀（こうしんのぎ）・・・・・・・・九十七

祓祝詞（はらえのりと）・・・・・・・・九十九

祓祝詞（はらへのりと）・・・・・・・・百一

神棚拝詞祝詞（かみだなはいしのりと）百二

大元造化三神報恩之祝詞『現代語訳』	百三
大元造化三神報恩之祝詞（だいげんぞうかさんじんほうおんののりと）	百四
拝礼（はいれい）	百六
大御神御宝号（おおみかみごほうごう）	百七
（ホツマ伝え）天津祓（あまつはらえ）	百八
（ホツマ伝え）天津祓の意味	百九
天津祓（あまつはらえ）	百九
天津祓 吐普加美依身多女の意味	百十三
天津祓（あまつはらえ）	百十三
国津祓（くにつばらい）	百十三
蒼草祓（ひとあおくさのはらい）	百十四
天津祝詞（あまつののりと）	百十四
柳山山神祓祝詞（やなぎやまやまのかみはらいののりと）	百十五
神拝詞（しんばいし）	百十六
産土神祓祝詞（うぶすなのかみのはらいののりと）	百十七
神言（かみごと）※言霊の大祓祝詞	百十九
開運祝詞（かいうんののりと）	百二十二
略拝詞（りやくはいし）	百二十二
祖霊拝詞（それいはいし）	百二十三
守護神祝詞（しゅごしんののりと）	百二十三
元津皇大神 報恩之祝詞（もとつすめおおみかみほうおんののりと）	百二十四
日本龍神祝詞（にほんりゅうじんののりと）	百二十六
龍神祝詞（りゅうじんののりと）	百二十七
龍王祝詞（守護神）（りゅうおうののりと）（しゅごしん）	百二十八
身滌大祓（みそぎのおおはらい）	百二十九
大祓祝詞（中臣祓）（おおはらいののりと）（なかとみのはらえ）大正年内務省	百三十
大祓祝詞（中臣祓）（おおはらいののりと）（なかとみのおはらい）	百三十三
大祓祝詞（おおはらいののりと）	百三十八
六根清浄大祓祝詞（ろっこんしょうじょうおおはらいののりと）	百四十一
先天三種大祓祝詞（せんてんみくさのおおはらいののりと）	百四十三
三種大祓祝詞（さんしゅおおはらいののりと）	百四十四
天地一切清浄祓祝詞（てんちいつさいしょうじょうののりと）	百四十四
一切成就祓（いつさいせいじゅはらい）	百四十五
奉幣式祝辞祝詞（ほうへいしきしゅくじののりと）	百四十五
元日祝詞（がんにつののりと）	百四十六

祈念祭祝詞（きねんさいのりと）	．．．．．	百四十七
御年神祭祝詞（みとしかみまつりのりと）	．．．．．	百四十八
節分祝詞（せつぶんのりと）	．．．．．	百四十九
神饌祝詞（しんせん のりと）	．．．．．	百五十一
神酒祝詞（みきのりと）	．．．．．	百五十二
潔齋祝詞（きよめののりと）	．．．．．	百五十二
鳥居之祓祝詞（とりいのはらいのりと）	．．．．．	百五十二
鳥居之祓祝詞（とりいのはらいのりと）	．．．．．	百五十三
伊勢内宮神前祝詞（いせないぐうしんぜんのりと）	．．．．．	百五十三
伊勢外宮神前祝詞（いせとつみやしんぜんのりと）	．．．．．	百五十四
産生神祓祝詞（うぶすなかみのはらいのりと）	．．．．．	百五十五
最上祓（さいじょうはらい）	．．．．．	百五十六
最要祓祝詞（さいようはらいのりと）	．．．．．	百五十六
五元之神を拝む辭（ごげんのかみをおがむことば）	．．．．．	百五十七
先祖靈屋祭辭（せんぞみたまやまつりのことば）	．．．．．	百五十七
神傳をしへの一言（しんでんをしへのひとこと）	【一紙經文】	百五十八
大道神祇（だいどうしんぎ）	．．．．．	百五十九
大日本国々々ノ宮祝詞（だいにっぽんくにぐにいちのみやのりと）	．．．．．	百六十四
十種神宝「布瑠の言（ふるのこと）」	．．．．．	百七十二
十種神宝大御名（とくさのかんだからのおんみな）	．．．．．	百七十二
十種神宝祓詞（とくさのかんだからのはらえことば）	．．．．．	百七十三
十種大祓祝詞（とくさおおはらいのりと）	．．．．．	百七十四
大國神甲子祝文（だいくくじんきのへねしゆくもん）	．．．．．	百七十七
惠美須神祝詞（ゑみすじんのりと）	．．．．．	百七十九
稻荷大明神祓祝詞（いなりだいまようじんはらいのりと）	．．．．．	百八十一
稻荷大神秘文祝詞（いなりおおかみひもんのりと）	．．．．．	百八十二
金毘羅神祓祝詞（こんぴらじんはらいのりと）	．．．．．	百八十三
天満宮祝文祝詞（てんまんぐうしゆくもん のりと）	．．．．．	百八十四
粟島神巳待祓祝詞（あわしまじんみまちはらいのりと）	．．．．．	百八十五
庚申祓祝詞（こうしんのはらいのりと）	．．．．．	百八十七
鎮火祝詞（ひしづめののりと）	．．．．．	百九十
日待之祓祝詞（ひまちはらいのりと）	．．．．．	百九十一
月待之祓祝詞（つきまちはらいのりと）	．．．．．	百九十二
地鎮祭招神祝詞（じちんさいしょうじんのりと）	．．．．．	百九十三
地鎮祭祝辭祝詞（じちんさいしゆくじのりと）	．．．．．	百九十三

清祓式開場祝辭祝詞（きよはらいしきかいじょうしゅくじのりと）	．．．．．	百九十四
山神祓祝詞（やまのかみのはらいのりと）	．．．．．	百九十四
海神祓祝詞（わだづみのはらいのりと）	．．．．．	百九十五
船玉祓祝詞（ふなたまのはらいのりと）	．．．．．	百九十六
釜所神祝詞（かまどのかみのりと）	．．．．．	百九十七
竈神祭祝詞（こうじんさいのりと）	．．．．．	百九十八
井戸神祓祝詞（いどのかみはらいのりと）	．．．．．	百九十八
井神祭祝詞（いどのかみまつりのりと）	．．．．．	百九十九
井神祭祝辭祝詞（いのかみまつりしゅくじのりと）	．．．．．	二百
新始祭祝詞（てをのはじめのまつりのりと）	．．．．．	二百一
柱立祝詞（はしらだてのりと）	．．．．．	二百二
棟祭祝詞（むねのまつりのりと）	．．．．．	二百三
屋堅之祓祝詞（やがためのはらいのりと）	．．．．．	二百四
衢神祝詞（ちまたのかみのりと）	．．．．．	二百五
障神祭祝詞（さへのかみまつりのりと）	．．．．．	二百六
賽神之祝詞（かみあけのりと）	．．．．．	二百七
三科祓祝詞（みしなのはらいのりと）	．．．．．	二百八
疫神祝詞（えきがみのりと） 邪神除祝詞（まかがみじよのりと）	．．．．．	二百八
疫神祓祝詞（やくじんのはらいのりと）	．．．．．	二百九
祈病祝詞（やまひのいのりのりと）	．．．．．	二百十
祈病祝詞（やまひのいのりのりと）	．．．．．	二百十
病氣平癒祈願祝詞（びようきへいゆきがんのりと）	．．．．．	二百十二
祈家内安全祝詞（いのりかないあんぜんのりと）	．．．．．	二百十三
祈念祝詞（きねんのりと）	．．．．．	二百十四
祈造酒祝詞（いのりぞうしゅのりと）	．．．．．	二百十五
雨乞祝詞（あまごいのりと）	．．．．．	二百十六
祖先の靈舎に向て申す詞（とほつおやのみたまやにむかひてもうすことば）	．．．．．	二百十八
祖先の靈舎に向て申す詞 略文（りやくぶん）	．．．．．	二百十八
祖廟靈鎮祓祝詞（そびようたましづめのはらいのりと）	．．．．．	二百十九
神拝之次第（じんはいのしだい）	．．．．．	二百十九
俗信拝次第（ぞくしんはいのしだい）	．．．．．	二百二十
遙拝祝詞（えうはいのりと）	．．．．．	二百二十一
神供祝詞（しんくのりと）	．．．．．	二百二十一
降来要文祝詞（こうらいのようもんのりと）	．．．．．	二百二十一
送納要文祝詞（そふなふようもんのりと）	．．．．．	二百二十三

略神拝次第（りやくじんはいのしだい）	．．．．．	二百二十三
御食御酒の祝詞（みけみきののりと）	．．．．．	二百二十四
神酒祝詞（みきのりと）	．．．．．	二百二十五
天祖神の大道祝詞（おおみかみのかみのみちのりと）	二拝二拍手一拝	二百二十五
天祖神 賛言（おおみかみたえこと）	．．．．．	二百二十五
清大祓（きよめのおおはらい）	．．．．．	二百二十五
一切成就大祓（みななるのおおはらい）	．．．．．	二百二十六
三種大祓（みくさのおおはらい）	．．．．．	二百二十七
四魂大祓（よつのおおはらい）	．．．．．	二百二十七
御霊清大祓（みたまきよめのおおはらい）	．．．．．	二百二十八
幽界魂清大祓（かくりよのみたまきよめのおおはらい）	．．．．．	二百二十九
言霊賛祝詞（ことたまたえのりと）	．．．．．	二百三十一
大道祝詞（かみのみちののりと）	．．．．．	二百三十二
感謝祝詞（いやひののりと）	．．．．．	二百三十四
一体祝詞（ひとつののりと）	．．．．．	二百三十五
魂新替祝詞（たまあらかえのりと）	．．．．．	二百三十八
龍王大神祝詞（りゅうおうおおかみのりと）	．．．．．	二百四十
御祖宗祝詞（みおやののりと）	．．．．．	二百四十一
天災から身を守る言霊（てんさいからみをまもることたま）	．．．．．	二百四十二
あいうえお祝詞	．．．．．	二百四十三
四十八音祝詞（しじゅうはちおんのりと）	．．．．．	二百四十四
あおうえい祝詞	．．．．．	二百四十四
天の数歌（あまのかずうた）	．．．．．	二百四十六
いろは祝詞	．．．．．	二百四十七
天津祝詞の太祝詞事（あまつのりととのふとののりとこと）	．．．．．	二百四十七
ひふみ祝詞	．．．．．	二百四十八
あわの祝詞	．．．．．	二百四十九
八言の神咒（やことのかじり）	【天之御中主大御神の真言】	二百五十
十言の神咒（とことのかじり）	【天照大御神の真言】	二百五十一
十三言の神咒（とみことのかじり）	【天之御中主大御神の真言】	二百五十二
天之御中主大御神神咒（あまのみなかぬしおおみかみかじり）	．．．．．	二百五十二
神家故實（しんけのこじつ）	．．．．．	二百五十三
神家忌詞内七言外七言（じんかいみことばないしちげんげしちごん）	．．．．．	二百五十三
御幣の作り方（1）	．．．．．	二百五十四

第三章かたかむなうたひ	二百五十九
第一首〜第八十首	二百六十〜三百四十
かたかむな文字図表	三百四十一

第四章 日々の生活の仕方 瞑想法	三百四十二
八正道・三学・五戒・八苦四苦	三百四十三
霊格を上げる方法	三百四十七
瞑想の仕方	三百四十八
阿字観瞑想用 阿字	三百五十一
和ロソクを使用しない瞑想の仕方	三百五十二
内観法	三百五十三
言霊の一番良い唱え方	三百五十五
究極の言霊(天之御中主求聞持法)	三百五十六
結界の造り方	三百五十七
結界印	三百五十八
パワーストポットの造り方	三百五十九
浄化印の色々(浄化印・封印・止之印)	三百六十
九字真言・九字の切り方収め方・九字を戻す法・九字図	三百六十一
観想法の除霊法・お祓い	三百六十六
不動明王の除霊法・お祓い	三百六十六
かたかむな健康法・治療法・除霊の仕方	三百六十七
お焚き上げ法	三百六十九
入魂法	三百七十
仏神宗仏神寺柳山神社 由来	三百七十一
著作権侵害について	三百七十四
出版社 出版日	三百七十五

神仏とは、日々の生活の中で、

自然、風景、日々の事象の中から、

肌で感じ、気配を感じ、第六感で感じ、

全身で感じるものであり、

そして全てを教わる、

それから神仏との対話が始まる。

第一章

經式次第

かいきようげ

開経偈

むじようじんじんみみようほう ひやくせんまんごうなんそうぐう がこんけんちんとくじゆじ がんげしんぶつしんじつぎ
無上甚深微妙法 百千万劫難遭遇 我今見聞得受持 願解神仏眞實義

(この上、比べるものなく深く尊い、この神仏の教えは、長い時をかけても出会うことは困難であります。)

わたしは、いま、幸いにも巡り合い、手にする事ができました。

ただ願うところは、神仏の本當の教えを体得したいものです。)

ざんげぶん

懺悔文

がしやくしよぞうしよあくごう かいゆむしとんじんち じゆうしんごいししよしよう いっさいがこんかいさんげ

我借所造諸惡業 皆由無始貪瞋痴 從身語意之所生 一切我今皆懺悔

(私が、過去に行った過ちは、全て、始めもわからない深い貪り、怒り、愚かさの三毒によるものです。)

それは、身体の行い、口の行い、心の行いの、三業から生まれ起きたものです。

全てを、私は今、神仏の教えに、照らされて懺悔致します。)

じゅうぜんかい

十善戒

でしむこう じんみらいさい ふせつしょう ふちゅうとう ふじやいん ふもうご ふきご ふあつく

弟子某甲 尽未来際 不殺生 不偷盜 不邪淫 不妄語 不綺語 不惡口

ふりようぜつ ふけんどん ふしんい ふじやけん

不兩舌 不慳貪 不瞋恚 不邪見

(神仏しんぶつの弟子でしとなつた私わたしは、未来みらい際さいに至るまで、

いかなる生命せいめいの殺生せつしょうを故意こいに致いたしません。

人ひとのものを故意こいに盗ぬすみません。

ふしだらな行爲こういをしません。

嘘偽うそいつわりを言いいません。

心こころにもない綺麗きれいごとを言いいません。

人ひとの悪口わるぐちを言いいません。

信用しんようを失うしなうことを言いいません。

物惜ものおしみせず、欲よくばつたりしません。

怒いかり憎にくむことをしません。業報・因果・縁起・輪廻ごうほう いんが えんぎ りんね まちがの、間違まちがつた考かんがえ方かたをしません。)

ほつぼだいしんしんごん

発菩提心真言

(三返)

おん ぼうぢ しつた

ぼだはだやみ

(私は、悟りを求める心をおこします。)

さんまやかいしんごん

三摩耶戒真言

(三返)

おん さんまや さとばん。

(私は、神仏と一体平等であります。)

こうみようしんこん

光明真言

(七返・二十一返・百八返・千八十返)

おん あぼきや べいろしやのう まかぼだら

まに はんどま じんばら はらばりたや うん

(自身の身体じしん からだから七色なないろの虹にじの光こうがでていると観想くわんさう(イメージ)して、軽く目を閉じ、われ「我と世界せかいの根底こんていから願ねがう、なすべきことを現実げんじつにする実行力じつこうりよくよ あまねくゆきわたる存在力そんざいりよくよ、生命せいめいに宿やどれる向上力こうじょうりよくよ、自他じたを大事だいじにする、生み出す意思力いしりよくよ、苦くるしみを見みのがさない観自在力かんじざいりよくよ 生きとし生けるものの幸さいわいを、生き生きと活動かつどうあれ努力どりよくあれ」と念ねんじて唱となえる事こと。)

※観想くわんさうすること、じつさい実際に七色なないろの虹にじの光ひかりが身体からだから放はなたれるようになる。

▲記号が表示されていたら、光明真言を三遍復唱する事。

(お経は基本、雨がシトシト降る様に、一漢字の字を二拍でよみますので延ばすーが沢山入っております。)
ぶっせつま か はんにやはら みつたしんぎよう

仏説摩訶般若波羅蜜多心經

かんじーざいぼーさつ　ぎようじんはんにやはーらーみつたーじー
しょうけんごーうんかいくう　どーいっさいくーやく　しやりーしー
しきふーいーくう　くうふーいーしき　しきそくぜーくう　くうそくぜーしき
じゅうそうぎようしき　やくぶーにようぜー　しやりーしー
ぜーしょうほうくうそう　ふーしょうふーめつ　ふーくーふーじよう
ふーぞうふーげん　ぜーこーくうちゅう　むーしきむーじゅうそうぎようしき
むーげんにーびーぜっしんに　むーしきしょうこうみーそくほう
むーげんかいなしいしー　むーいーしきかい　むーむーみようやく
むーむーみようじん　ないしーむーろうしー　やくむーろうしーじん
むーくーしゅうめつどう　むーちーやくむーとく　いーむーしょとくこー
ぼーだいさつたー　えーはんにやはーみつたーこー
しんむーけーげー　むーけーげーこー　むーうーくーふー
おんりーいっさいてんどうむーそう　くーぎようねーはん
さんぜーしょうぶつ　えーはんにやはーらーみつたーこー
とくあーのくたーらーさんみやくさんぼーだい

こーちーはんにやはーらーみったー ぜーだいじんしゅ ぜーだいみようしゅ
 ぜーむーじようしゅ ぜーむーとうどうしゅ のうじよういっさいくー
 しんじつふーこー こーせつはんにやはーらーみったーしゅ
 そくせつしゅうわつ

ぎやーてい ぎやーてい はーらーぎやーてい はーらーそうぎやーてい
 ぼーじーそわか

はんにやしんぎよう。▲

ぶつせつまーかーはんにやーはーらーみったーしんぎよう 仏説摩訶般若波羅蜜多心經

かんじーざいぼーさつ ぎようじんはんにやーはーらーみったーじー しょうけんごうんかいこう どーいっさいくーやく しやりーしー
 觀自在菩薩 行深般若波羅蜜多時 照見五蘊皆空 度一切苦厄 舍利子

しきふーいーくう くうふーいーしき しきそくぜーくう くうそくぜーしき じゆそうぎようしき やくふーにようぜー しやりーしー
 色不異空 空不異色 色即是空 空即是色 受想行識 亦復如是 舍利子

ぜーしよほうくうそう ふーしよふーめつ ふーくーふーじよう ふーぞうふーげん ぜーこーくううちゆう むーしきむーしゆうそうぎようしき むーげんにーびーぜつしんいー
 是諸法空相 不生不滅 不垢不淨 不增不減 是故空中 無色無受想行識 無限耳鼻舌身意

むーしきしよこうみーそくほう むーげんかい ないしーむーいーしきかい むーむーみようやくむーむーみようじん ないしーむーろうしー やくむーろうしーじん むーくーしゆうめつどう
 無色声香味触法 無眼界 乃至無意識界 無無明亦無無明尽 乃至無老死 亦無老死尽 無苦集滅道

むーちーやくむーとく いーむーしよとくこー ぼーだいさつたー えーはんにやはーらーみったーこー しんむーけーげー むーけーげーこー むーうーくーふー おんりーいっさいてんどうむーそう
 無智亦無得 以無所得故 菩提薩埵 依般若波羅蜜多故 心無罣礙 無罣礙故 無有恐怖 遠離一切顛倒夢想

くーぎようねーはん さんぜーしよぶつ えーはんにやはーらーみったーこー とくあーのくたーらーさんみやくさんぼーだいこー ちーはんにやはーらーみったー
 究竟涅槃 三世諸仏 依般若波羅蜜多故 得阿耨多羅三藐三菩提故 知般若波羅蜜多

ぜーだいじんしゅ ぜーだいみようしゅ ぜーむーじようしゅ ぜーむーとうどうしゅ のうじよいつさいくー しんじつふーこーこー せつはんにやはーらーみったーしゅ
 是大神呪 是大明呪 是無上呪 是無等等呪 能除一切苦 真実不虛故 說般若波羅蜜多呪

そくせつしゅわー ぎやていぎやてい はーらーぎやてい はーらーそうぎやてい ぼーちーそーわーかー はんにやしんぎよう
 即說呪日 羯諦羯諦 波羅羯諦 波羅僧羯諦 菩提薩婆訶 般若心經 ▲

えんめいじゅつつかんのんきよう

延命十句観音経

かんぜーおん なーむーぶつ よーぶつうーいん よーぶつうーえん
ぶつぽうそうえん じょうらくがーじょう ちようねんかんぜーおん
ぼーねんかんぜーおん ねんねんじゅうしんきー ねんねんふーりーしん。▲

延命十句観音経

かんぜーおん なーむーぶつ よーぶつうーいん よーぶつうーえん
観世音 南無仏 与仏有因 与仏有縁 仏法僧縁 常樂我常 朝念観世音 暮念観世音
ねんねんじゅうしんきー ねんねんふーりーしん
念念従心起 念念不離心 ▲

妙法蓮華經觀世音菩薩普門品第二十五

※（觀世音菩薩普門品偈）だけ唱えても効果があり。

爾時 無尽意菩薩 即從座起 偏袒右肩 合掌向佛 而作是言 世尊觀世音菩薩 以何因緣 名觀世音
 佛告無盡意菩薩 善男子 若有無量 百千萬億衆生 受諸苦惱 聞是觀世音菩薩 一心稱名 觀世音菩薩
 即時觀其音聲 皆得解脫 若有持是觀世音菩薩名者 設入大火 火不能燒 由是菩薩威神力故
 若為大水所漂 稱其名号 即得淺處 若有百千萬億衆生 為求金 銀 瑠璃 碑礫 瑪瑙 珊瑚
 琥珀 真珠等宝入於大海 仮使黑風 吹其船舫 飄墮羅刹鬼国 其中若有乃至 一人稱觀世音菩薩名者
 是諸人等 皆得解脫羅刹之難 以是因緣 名觀世音 若復有人 臨当被害 稱觀世音菩薩名者
 彼所執刀杖尋段段壞 而得解脫 若三千大千国土 滿中夜叉羅刹 欲來惱人聞其 稱觀世音菩薩名者
 是諸惡鬼 尚不能以惡眼視之 況復加害 設復有人 若有罪若無罪 枷械枷鎖檢繫其身
 稱觀世音菩薩名者 皆悉斷壞即得解脫 若三千大千国土 滿中怨賊 有一商主 將諸商人
 齊持重宝 經過險路 其中一人 作是唱言 諸善男子 勿得恐怖 汝等应当 一心稱觀世音菩薩名号
 是菩薩 能以無畏 施於衆生 汝等若 称名者 於此怨賊 当得解脫 衆商人聞俱發誓言
 南無觀世音菩薩 称其名故 即得解脫 無尽意 觀世音菩薩摩訶薩 威神之力 巍巍如是 若有衆生
 多於淫欲 常念恭敬觀世音菩薩 便得離欲 若多瞋恚 常念恭敬觀世音菩薩 便得離瞋 若多愚痴
 常念恭敬觀世音菩薩 便得離癡 無尽意 觀世音菩薩 有如是等大威神力 多所饒益 是故衆生
 常心念 若有女人 設欲求男 禮拜供養觀世音菩薩 便生福德智慧之男 設欲求女

便生端正有相之女 宿植德本 衆人愛敬 無尽意 觀世音菩薩 有如是力 若有衆生
恭敬 礼拝 觀世音菩薩 福不唐捐 是故衆生 皆心受持 觀世音菩薩 名号 無尽意 若有人
受持 六十二億恒河沙菩薩 名字 復 殫形 供養 飲食 衣服 臥具 醫藥 於 汝意云何 是善男子 善女人
功德多不 無尽意言甚多 世尊 仏言 若復有人 受持 觀世音菩薩 名号 乃至一時 礼拝 供養 是二人福
正等無異 於 百千萬億劫 不可窮尽 無尽意 受持 觀世音菩薩 名号 得如是無量無辺 福德之利
無尽意菩薩 白 仏言 世尊 觀世音菩薩 云何遊此娑婆世界 云何而為衆生 說法 方便之力 其事云何
仏告無尽意菩薩 善男子 若有国土 衆生 心以 仏身得度者 觀世音菩薩 即現 仏身而為說法
心以 辟支佛身得度者 即現 辟支佛身而為說法 心以 声聞身得度者 即現 声聞身而為說法
心以 梵王身得度者 即現 梵王身而為說法 心以 帝釈身得度者 即現 帝釈身而為說法 心以 自在天身得度者
即現 自在天身而為說法 心以 大自在天身得度者 即現 大自在天身而為說法 心以 天大将軍身得度者
即現 天大将軍身而為說法 心以 毘沙門身得度者 即現 毘沙門身而為說法 心以 小王身得度者
即現 小王身而為說法 心以 長者身得度者 即現 長者身而為說法 心以 居士身得度者
即現 居士身而為說法 心以 宰官身得度者 即現 宰官身而為說法 心以 婆羅門身得度者 即現 婆羅門身而為說法
心以 比丘 比丘尼 優婆塞 優婆夷身得度者 即現 比丘 比丘尼 優婆塞 優婆夷身而為說法
心以 長者 居士 宰官 婆羅門 婦女身得度者 即現 長者 居士 宰官 婆羅門 婦女身而為說法
心以 童男童女身得度者 即現 童男童女身而為說法 心以 天 龍 夜叉 乾闥婆 阿修羅 迦樓羅 緊那羅
摩睺羅伽 人非人等身得度者 即皆現之而為說法 心以 執金剛神得度者 即現 執金剛神而為說法

無尽意 是觀世音菩薩 成就如是功德 以種種形 遊諸国土 度脫衆生 是故汝等
 应当一心供養觀世音菩薩 是觀世音菩薩摩訶薩 於怖畏急難之中 能施無畏 是故此娑婆世界 皆号之
 為施無畏者 無尽意菩薩 白佛言 世尊 我今當供養觀世音菩薩 即解頸衆宝珠瓔珞價直百千兩金
 而以與之 作是言 仁者 受此法施珍宝瓔珞 時觀世音菩薩 不肯受之 無尽意 復白觀世音菩薩言
 仁者 愍我等故 受此瓔珞 爾時 佛告觀世音菩薩 當愍此無尽意菩薩 及四衆 天 龍 夜叉 乾闥婆
 阿修羅 迦樓羅 緊那羅 摩睺羅伽 人非人等故 受是瓔珞 即時觀世音菩薩 愍諸四衆 及於天 龍
 人非人等 受其瓔珞 分作二分 一分奉釈迦牟尼佛 一分奉多宝佛塔 無尽意 觀世音菩薩 有如是自在神力
 遊於娑婆世界
 爾時 無尽意菩薩 以偈問曰

（觀世音菩薩普門品偈）

世尊妙相具 我今重問彼 佛子何因緣 名為觀世音 具足妙相尊 偈答無盡意 汝聽觀音行
 善心諸方所 弘誓深如海 歷劫不思議 侍多千億佛 發大清淨願 我為汝略說 聞名及見身
 心念不空過 能滅諸有苦 假使興害意 推落大火坑 念彼觀音力 火坑變成池 或漂流巨海 龍魚諸鬼難
 念彼觀音力 波浪不能沒 或在須弥峰 為人所推墮 念彼觀音力 如日虛空住 或被惡人逐 墮落金剛山
 念彼觀音力 不能損一毛 或值怨賊繞 各執刀加害 念彼觀音力 咸即起慈心 或遭王難苦 臨刑欲壽終
 念彼觀音力 刀尋段段壞 或囚禁枷鎖 手足被柱械 念彼觀音力 釈然得解脫 呪詛諸毒藥 所欲害身者
 念彼觀音力 還着於本人 或遇惡羅刹 毒龍諸鬼等 念彼觀音力 時悉不敢害 若惡獸圍繞 利牙爪可怖

ねんびーかんのんりき しつそうむーへんぼう 疾走無邊方
 念彼觀音力 玩蛇及蝮蠍 氣毒煙火燃 念彼觀音力 尋聲自回去 雲雷鼓掣電 降雹澍大雨
 ねんびーかんのんりき おうじーとくしようさん 衆生被困厄 無量苦逼身 觀音妙智力 能救世間苦 具足神通力 廣修智方便
 念彼觀音力 じつぼうしよーこくどー 無利不現身 種種諸惡趣 地獄鬼畜生 生老病死苦 以漸悉令滅 真觀清淨觀
 十方諸国土 無利不現身 種種諸惡趣 地獄鬼畜生 生老病死苦 以漸悉令滅 真觀清淨觀
 こうだいちーえーかん ひーかんぎゆうじーかん 常願常瞻仰 無垢清淨光 慧日破諸闇 能伏災風火 普明照世間
 廣大智慧觀 悲觀及慈觀 常願常瞻仰 無垢清淨光 慧日破諸闇 能伏災風火 普明照世間
 ひーたいかいらいしん じーいーみようだいうん 澍甘露法雨 滅除煩惱焰 諍訟經官処 怖畏軍陣中 念彼觀音力
 悲體戒雷震 慈意妙大雲 澍甘露法雨 滅除煩惱焰 諍訟經官処 怖畏軍陣中 念彼觀音力
 しゅうおんしつたいさん みようおんかんぜーおん 梵音海潮音 勝彼世間音 是故須常念 念念勿生疑 觀世音淨聖
 衆怨悉退散 妙音觀世音 梵音海潮音 勝彼世間音 是故須常念 念念勿生疑 觀世音淨聖
 おーくーのうしーやく のういーさーえーこー ぐーいつさいくーどく じーげんじーしゅうじよう ふくじゅうかいむーりよう ぜーこーおうちようらい
 於苦惱死厄 能為作依怙 具一切功德 慈眼視衆生 福聚海無量 是故応頂礼
 にーじー じーじーぼーさつ そくじゅうざーき ぜんびやくぶつこん せーそん にやくうーしゅうじよう もんぜーかんぜーおんぼーさつぽん じーざいしーごう ふーもんじーげん
 爾時 持地菩薩 即從座起 前白佛言 世尊 若有衆生 聞是觀世音菩薩品 自在之業 普門示現
 じんつうりきしやー とうちーぜーにん くーどくふーししよう ぶつせつぜーふーもんぼんじー しゅうちゆう はちまんしーせんしゅうじよう
 神通力者 当知是人 功德不少 佛說是普門品時 衆中 八萬四千衆生
 かいほつむーとうどうあーのくたーらーさんみやくさんばーだいしん
 皆發無等等阿耨多羅三藐三菩提心 ▲

般若理趣經

【以下本字に赤ルビは読まぬこと】

大興善寺三藏沙門大廣智不空奉

詔譯

理趣經總印



【梵字は全て声に出さず、口中にて唱える事】



「おん まきやそヴあ ばさらさたば じゃくうんばんこく そらた さとばん」

歸命毘盧遮那佛

無染無着眞理趣

生生値遇無相教

世世持誦不忘念

弘法大師

増法樂

當所

鎮守

増法樂

大樂金剛

不空眞實

三摩耶經

般若波羅蜜多理趣品

じよーがーぶん 一時薄伽梵 成就殊勝 一切如來 金剛加持 三摩耶智 已得一切 如來灌頂 寶冠爲 三界主
 いーしやういつさい 如來一切 智智 瑜伽自在 能作一切 如來一切 印平等種種 事業 於無盡 無餘一切
 しゆうせいかいいつさい 意願作業 皆悉圓滿 常恆三世一切 時身語意業 金剛大毘盧遮那如來 在於欲界他化
 衆生界一切 自在天王宮中 一切如來 常所遊處 吉祥稱歎 大摩尼殿 種種間錯 鈴鐸繪幡 微風搖擊
 珠鬘瓔珞 半滿月等 而爲莊嚴

よーはつじゅうくー しーぼーさつしゅうくー そういー こんごうしゅぼーさつ まーかーさつ かんじーざいぼーさつ まーかーさつ こくぞうぼーさつ まーかーさつ
 與八十俱 祇菩薩衆俱 所謂 金剛手菩薩 摩訶薩 觀自在菩薩 摩訶薩 虛空藏菩薩 摩訶薩
 こんごうけんぼーさつ まーかーさつ もんじゅしーりーぼーさつ まーかーさつ さいはつしんてんほうりんぼーさつ まーかーさつ こくうこーぼーさつ まーかーさつ
 金剛拳菩薩 摩訶薩 文殊師利菩薩 摩訶薩 纔發心轉法輪菩薩 摩訶薩 虛空庫菩薩 摩訶薩
 さいいつさいまーぼーさつ まーかーさつ よーじよーぜーとう だいぼーさつしゅう きょうけいーいーじやう じーいーせつぽう しよーちゅうこうぜん ぶんぎーこうみやう
 摧一切魔菩薩 摩訶薩 與如是等 大菩薩衆 恭敬圍繞 而爲說法 初中後善 文義巧妙 純一圓滿
 せいせいけつぱく
 清淨潔白

せつ いつさいほうせいせいいくーもん そういー みやうてき せいせいいくー しーぼーさついー よくせん せいせいいくー しーぼーさついー しょく せいせいいくー しーぼーさついー
 說 一切法清淨句門 所謂 妙適 清淨句 是菩薩位 慾箭 清淨句 是菩薩位 觸 清淨句 是菩薩位
 あいはく せいせいいくー しーぼーさついー いつさいじーざいしゅー せいせいいくー しーぼーさついー けん せいせいいくー しーぼーさついー てきえつ せいせいいくー しーぼーさついー
 愛縛 清淨句 是菩薩位 一切自在主 清淨句 是菩薩位 見 清淨句 是菩薩位 適悅 清淨句 是菩薩位
 あい せいせいいくー しーぼーさついー まん せいせいいくー しーぼーさついー そうげん せいせいいくー しーぼーさついー いーしーたく せいせいいくー しーぼーさついー
 愛 清淨句 是菩薩位 慢 清淨句 是菩薩位 莊嚴 清淨句 是菩薩位 意滋澤 清淨句 是菩薩位
 こうみやう せいせいいくー しーぼーさついー しんらく せいせいいくー しーぼーさついー しょく せいせいいくー しーぼーさついー せい せいせいいくー しーぼーさついー
 光明 清淨句 是菩薩位 身樂 清淨句 是菩薩位 色 清淨句 是菩薩位 聲 清淨句 是菩薩位
 きやう せいせいいくー しーぼーさついー びー せいせいいくー しーぼーさついー かーいーこー いつさいほうじー せいせいせいこー はんにやーはーらーみつたー せいせい
 香 清淨句 是菩薩位 味 清淨句 是菩薩位 何以故 一切法自 性清淨故 般若波羅蜜多 清淨

こんごうしゅう にやくゆうぶんしー せいせいしゅつせいいくー はんにやーりーしゅー ないしーぼーだいどうじやう いつさいかいしよう ないぼんのうしよう ほうしようこうしよう せつこうせきしゅう
 金剛手 若有聞此 清淨出生句 般若理趣 乃至菩提道場 一切蓋障 乃煩惱障 法障業障 設廣積習
 ひつふーたーよー じーことうしゅー せつさくじゅうざい しょうめつふーなん にやくのうじゅうちー じつじつ とくしよう さくいーしーゆい そくよーげんせいしよう いつさいほうびようどう
 必不墮於 地獄等趣 設作重罪 消滅不難 若能受持 日日 讀誦 作意思惟 即於現生證 一切法平等
 こんごうさんまーちー よーいつさいほう かいとくじーざい じゅーよーむーりやう てきえつかんきー いーじゅうろくだい ぼーさつせい かくとくによーらい しうこんごういー じーはくきやーぼん
 金剛三摩地 於一切法 皆得自在 受於無量 適悅歡喜 以十六大 菩薩生 獲得如來 執金剛位 時薄伽梵
 いっさいによーらい だいじようげんしよう さんまーやー いつさいまーんーだらじー こんごうしようさつたー よーさんかいちゅう ちようふくむーよー いっさいぎーせいじゅー
 一切如來 大乘現證 三摩耶 一切曼荼羅持 金剛勝薩埵 於三界中 調伏無餘 一切義成就
 こんごうしゅーぼーさつ まーかーさつ いーよくじゅうおー べーしーぎーこー きーいーびーせう さつしゅーさー こんごうまんにん ゆうしゅーちゅうてき ほんそー だいこんごうさく
 金剛手菩薩 摩訶薩 爲欲重顯 明此義故 熙怡微笑 左手作 金剛慢印 右手抽擲 本初 大金剛作
 ゆうしんせい せつ だいらくこんごう ふーくうさんまーやーしん
 勇進勢 說 大樂金剛 不空三摩耶心